

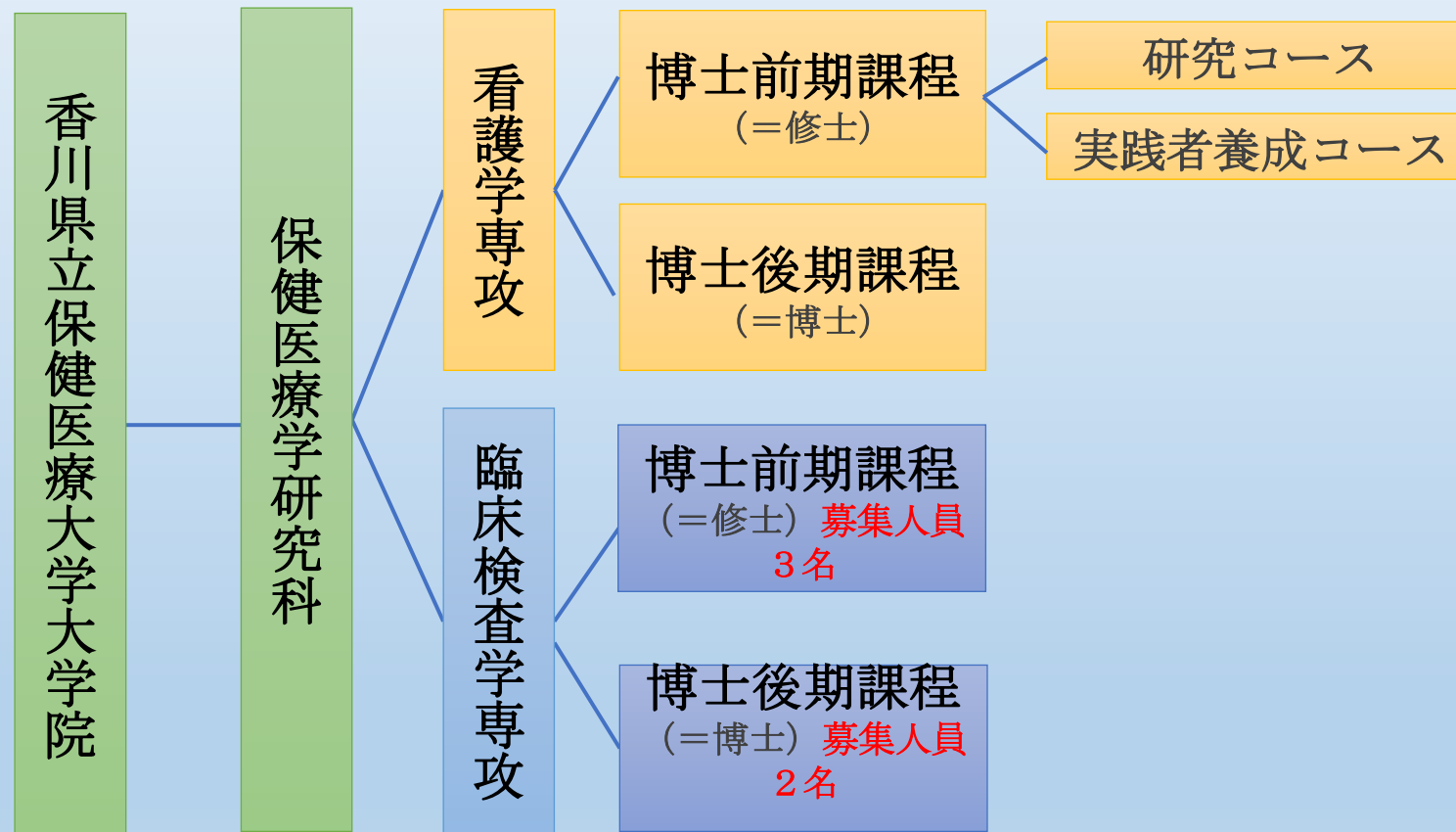
令和7年度 香川県立保健医療大学 オープンキャンパス

大学院 保健医療学研究科
“臨床検査学専攻” の紹介

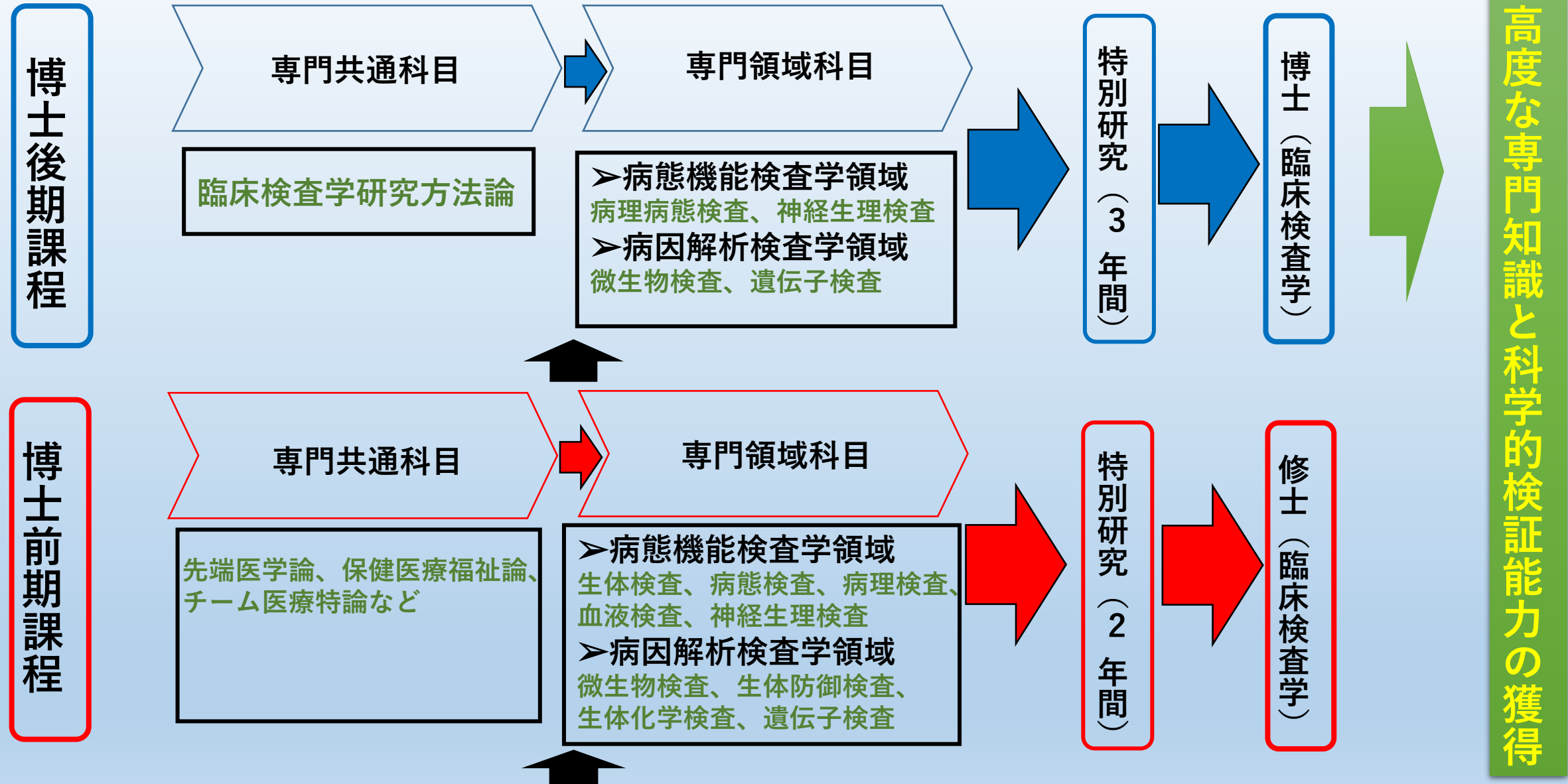
(大学院で研究してみませんか?)

令和7年8月3日 (日)

本大学の大学院



香川県立保健医療大学大学院・臨床検査学専攻 教育課程の関連図



保健医療学部臨床検査学科 4年間の教育（学士：臨床検査学）⇒“臨床検査技師”国家資格取得

臨床検査学専攻の大学院がどうして必要なのか？

基本理念・目的

- 保健医療の分野において、高度で専門的な学術理論および実践能力を修得し、包括的な判断力と指導力を有する高度医療専門職を育成



修士卒が必要な大学附属病院等の就職先

- ⇒ 高度な学術理論と実践能力をもって多職種連携によるチーム医療に貢献

例えば、大学附属病院などで感染対策委員会に所属し、ICD, ICN, ICPS らと連携し ICMT（認定臨床微生物検査技師）としてICTやAS活動における活躍の可能性

- 高度な専門知識と新規かつ独創的な研究成果を発信する研究能力を持つ教育者・研究者を育成

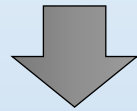


修士卒以上が必要な医療関連企業の研究開発職や大学教員等の就職先 ➡ 優れた臨床検査技師の養成や社会人教育

- ⇒ 地域の保健医療の質的向上、人々の健康増進

- ⇒ 健康長寿社会の推進や次世代育成の支援に寄与

具体的に何をするところ？



“研究” です

研究対象は「臨床検査学」

(その研究内容は「基礎医学」や「臨床医学」
に幅広く関連する内容で、多岐にわたります)

臨床検査学専攻（**博士前期課程**）の アドミッションポリシー （入学してもらいたい人の資質）

基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求めています

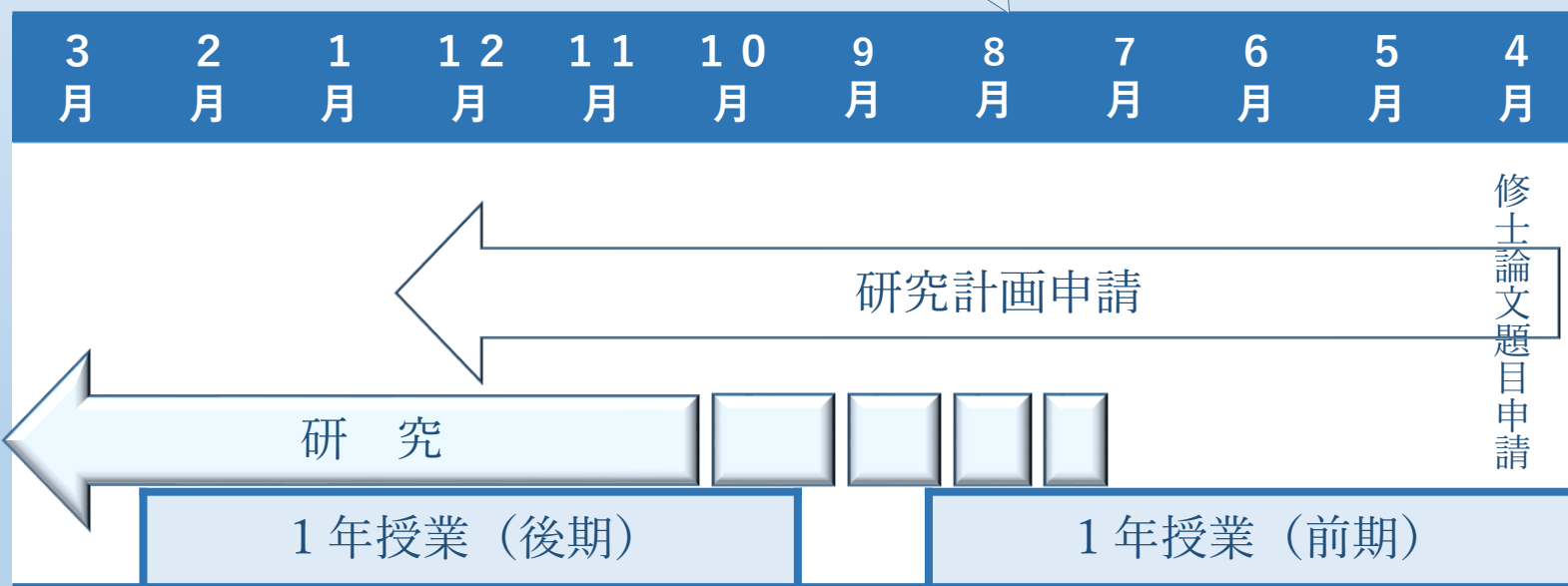
- （1）生命を尊重し、いたわりの心をもつ人
- （2）臨床検査に関する基本的な知識・技能・態度を有している人
- （3）臨床検査学の領域におけるさまざまな課題について
リサーチマインドを持って探求し、解決に努力する人
- （4）**新たな臨床検査技術の開発に向けた研究**を行いたい人

在学生（博士前期課程1年生）の視点 院生の日常①

研究

【1年次】

日臨技教育学会
学術大会



在学生（博士前期課程2年生）の視点 院生の日常②

研究

【2年次】

日臨技教育学会
学術大会

オープンキャンパスの
お手伝い



在学生（博士前期課程 1 年生）の視点 博士前期課程進学の特典①

- 研究のことだけを考えることができる 2 年間
- 学部生から直接大学院へ行くと
社会人大学院生よりも長い時間研究に専念することができる
- 本大学院へ進むと卒業研究の内容を発展させて研究することが可能

在学生（博士課程2年生）の視点 博士前期課程進学の特典②

「就職について考える時間が増える」

- 院1年の間、就職先について更に考えることができる
- 就職した同期の話を聞くことができる
- 大学院の同期（社会人の方）の話を聞くことができる
- 修士卒が必要な企業の研究開発や大学病院等の就職先が増える

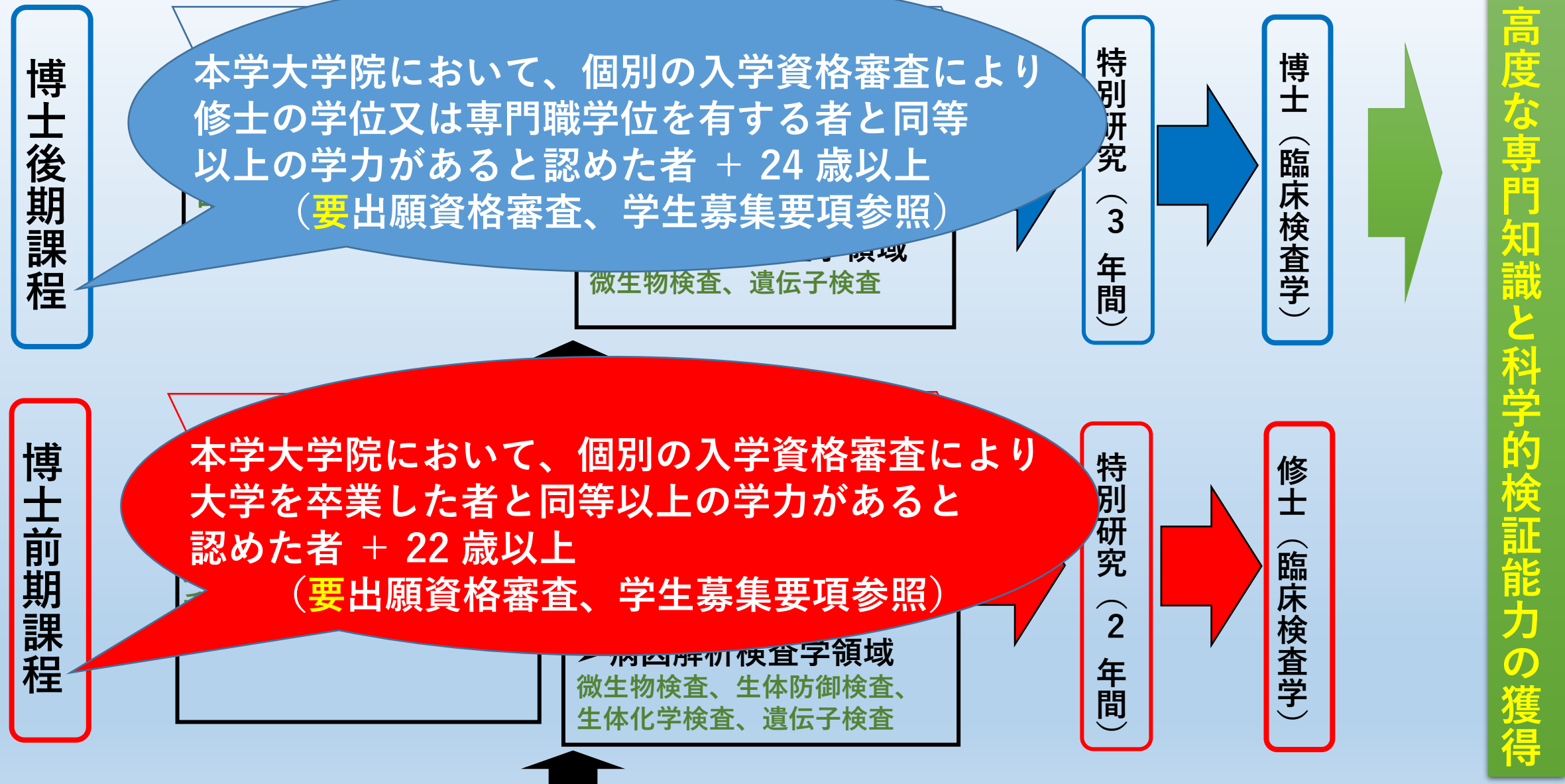
大切なのは自分で決断すること！

臨床検査学専攻（**博士後期課程**）の アドミッションポリシー （入学してもらいたい人の資質）

基本理念・目的を達成するため、次のような資質を備えた人を求めています

- （1）臨床検査学の高度な専門知識と科学的検証能力の獲得に強い意欲を有する人
- （2）臨床検査学領域における問題解決能力を備え、独創的な技術基盤の構築に向け強い意欲を有する人
- （3）基本的な英語力を更に高め、国際専門誌の読解力や投稿への強い意欲を有する人
- （4）臨床検査学領域における教育者・研究者を目指す人

香川県立保健医療大学大学院・臨床検査学専攻 教育課程の関連図



保健医療学部臨床検査学科 4年間の教育 (学士：臨床検査学) ⇒ “臨床検査技師”国家資格取得

最後に

研究活動を通して、高度な専門的能力・専門知識、
科学的な思考力や問題解決能力が養われます →
その結果として、

“修士及び博士（臨床検査学）”の学位を取得できます。

「大学院への進学」という選択肢を
少しでも身近に感じてもらえれば幸いです。